

令和7年度予算編成方針

取 扱 注 意

10月25日(金)

記者会見終了後解禁

令和6年10月25日

山口市総合政策部

「ともに築く 元気山口」予算

令和7年度は、第二次山口市総合計画後期基本計画の3年目となる年度であり、同時に、新市発足から20年の節目を迎える年度となります。

本市では、新市発足以降、市民の皆様を始めとした多くの関係者と、都市も農山村も、ともに元気なまちづくりを進めています。こうした中で、令和2年国勢調査における本市の人口は、合併当時の国の推計を上回る状況となっておりますものの、我が国全体の人口は本格的な減少局面を迎えつつあります。本市としては、ずっと元気な山口をともに築くため、県都としての求心力を高める社会基盤整備を通じた人口減少対策を引き続き進めると同時に、一定の人口減少が続く社会にも適応した持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。

こうした中で、令和7年度は、農山村を始めとする21地域における防災・地域振興拠点や、小郡都市核づくりにおける社会基盤、そして、新本庁舎や湯田温泉こんこんパークを始めとした山口都市核づくりにおける社会基盤の整備を進めつつ、その機能を最大限に発揮し、県都としての求心力を更に高めていきます。同時に、市街地及びその周辺エリア、農山村エリアにおける定住環境を整えつつ、地域コミュニティの維持・継続に向けた取組など、住み慣れた地域でずっと住み続けられる地域づくりを進めることで、都市も農山村も、ともに元気なまちを目指します。

こうした施策展開を図りつつ、子育て・教育、医療・介護、防災、交通、環境、産業振興などの各分野において、安全・安心で快適に暮らせるまちを目指した取組を進めます。同時に、人口減少局面を迎える中で、限られた経営資源を効果的に活用できるよう、時代の流れや変化する社会情勢を踏まえながら、ソフト・ハードの両面における事業の重点化や再構築などを進め、持続可能な行政サービスの提供につなげていきます。

さらに、長い歴史と先人たちにより築かれた本市の魅力が、海外からも評価されている中、都市と自然、そして、伝統的な歴史・文化と最先端の芸術文化が調和している本市の個性を更に際立たせ、市民の皆様はもとより、国内外へ広く発信していきます。

こうした、都市も農山村も元気なまち、安全・安心で快適に暮らせるまち、歴史・文化などの個性が更に際立つまちを目指した取組を進めつつ、H X（人材育成）・D X（デジタル化）・G X（地域脱炭素）の3つのXを始めとした様々なチャレンジを、大学等や企業と行政との連携のもとでともに支え、地域課題の解決や地域経済の活性化につなげていきます。

こうした考え方のもと、令和7年度予算を「ともに築く 元気山口」予算と位置づけ、将来に備えて積み立ててきた特定目的基金の計画的な活用や、国等の補助制度の活用を図りながら、後期基本計画における6つの重点プロジェクトの取組や、本市の地方創生に向けた山口市デジタル田園都市国家構想総合戦略の取組の着実な推進を目指した予算編成を進めます。併せて、国の総合経済対策や地方財政対策、県の「やまぐち未来維新プラン」の方向性などを踏まえた予算編成を進め、「ずっと元気な山口」の実現に向けたまちづくりを進めます。

【6つの重点プロジェクトにおける取組検討の方向性】

1 子ども・子育て全力応援のまちづくり

子育て世代から更に選ばれるまちづくりに向けて、子ども・子育てに関する相談支援体制の強化や、保育環境の充実を図りつつ、子育て家庭の負担軽減に向けた取組の検討を進めます。また、本市の地域資源を生かした特色ある教育プログラムの展開など、子どもたちの生きる力を育む教育環境の充実に向けた検討を進めます。

2 若者活躍と雇用創出の環境づくり

大都市圏への若者の転出超過の抑制に向けて、雇用の受け皿となるあらゆる産業分野の経営基盤の強化や担い手確保・育成の取組、企業誘致の推進に向けた検討を進めつつ、若者定住につながる雇用・就業促進の取組の充実・強化に向けた検討を進めます。

3 人生100年時代の元気活躍のまちづくり

あらゆる世代が生涯にわたって元気で健康に暮らせるまちづくりとして、地域における包括的支援体制の構築や地域医療提供体制の確保に向けた検討を進めます。また、あらゆる世代の市民が学び、活躍できる環境づくりに向けた検討を進めます。

4 21地域づくりと農山村活性化

「個性と安心の21地域づくり」の取組として、協働によるまちづくりのもと、地域交流センターを中心とした日常生活圏の維持・確保に向けた検討を進めます。また、農山村エリアの地域活性化に向けて、農林水産業の振興や居住促進の取組検討を進めます。

5 元気な県都づくり

「広域県央中核都市づくり」の取組として、山口・小郡の両都市核づくりの着実な推進のための検討を進めます。また、観光地域づくりを通じて、市民の利便性向上と交流人口の創出につながる取組の検討を進めます。さらに、広域ネットワークの強化に向けて、JR山口線の利用促進策や、広域的な幹線道路の整備促進の取組などの検討を進めます。

6 持続可能な未来都市づくり

HX、DX、GXなどを通じて持続可能なまちづくりを支えるため、学都山口の特性を生かした学びのまちづくりによる人材育成の取組の検討を進めつつ、あらゆる施策分野において、デジタル化や地域脱炭素などの時代の流れへの対応を進めます。また、関係者との連携のもと、県農業試験場等跡地や県立大学南キャンパス跡地などの公有地・公共施設等の活用に向けた検討を進めます。さらに、重複する機能を持った公共施設の複合化や集約化を通じた機能強化、併せて、適正な施設規模への縮小や老朽化した施設の計画的な除却等の検討を進めます。

【予算要求基準 総括事項】

- ・年間通年予算として編成することから、年間を通じて予定される全ての収入・支出を的確に把握して計上すること。
- ・6つの重点プロジェクトの推進を十分に意識し、その目標達成に向けて部局横断的に予算の編成を行うと同時に、施策別包括的予算制度として各施策に配分する一般財源の範囲内で予算要求を行うこと。
- ・多様化する行政ニーズに対応したビルド＆スクラップ（新規事業を行う場合、既存事業を廃止）を積極的に行い、限りある財源を最も有効に活用した予算要求を行うこと。

【予算編成方針のイメージ図】

第二次山口市総合計画 将来都市像

豊かな暮らし 交流と創造のまち 山口 ～これが私のふるさとだ～

第二次総合計画後期基本計画

「ずっと元気な山口」の実現

「ともに築く 元気山口」予算

新市発足20年の節目を迎える中、ずっと元気な山口をともに築くため、
県都としての求心力を高める社会基盤整備を通じた人口減少対策と、
一定の人口減少が続く社会に適応した持続可能なまちづくりを進める

- 1 都市も農山村も元気なまち
- 2 安全・安心で快適に暮らせるまち
(経営資源の最適化のもとでの事業の重点化・再構築)
- 3 歴史・文化などの個性が更に際立つまち

6つの重点プロジェクト

子ども・子育て全力応援のまちづくり

若者活躍と雇用創出の環境づくり

人生100年時代の元気活躍のまちづくり

21地域づくりと農山村活性化

元気な県都づくり

持続可能な未来都市づくり

HX(人材育成) DX(デジタル化) GX(地域脱炭素)

【収支試算（一般会計）】

（一般財源ベース：億円）

		令和7年度	令和6年度 (当初予算)	比 較
歳 入		579	612	△33
市	税	288	276	12
地 方	交 付 税	181	179	2
臨 時	財 政 対 策 債	3	2	1
基 金	繰 入 金	32	70	△38
	うち財政調整基金	0	13	△13
	うち特定目的基金	32	57	△25
そ の 他		75	85	△10
歳 出		622	612	10
枠 対 象 経 費	義 務 的 経 費	398	390	8
	人 件 費	135	139	△4
	公 債 費	106	101	5
	そ の 他	157	150	7
	政 策 的 経 費	185	167	18
	維 持・固 定 経 費	144	128	16
	一 般 経 費	41	39	2
枠 対 象 外	プ ロ ジ ェ ク ト 経 費	29	40	△11
	一 時 的・期 限 付 経 費	10	15	△5
財源不足額(※)		△43	0	△43

※令和7年度当初予算については、今後予算編成を進める中で、国等の補助制度の活用を図るとともに、更なる事業の精査を行うなど、歳入・歳出の両面から財源不足の解消に向けた取組を行うこととしています。

【スケジュール】

	令和7年度予算編成
令和6年度	10月25日 令和7年度予算編成方針の発表 11月1日 予算要求説明会 11月26日 予算要求資料の提出締切 1月中・下旬 令和7年度当初予算 市長査定 2月上旬 令和7年度当初予算案の発表 2月中・下旬 令和7年度当初予算案の市議会への議案提出